



エコツーリズムプロジェクトチーム員

私たちは、かけがえのない奥入瀬渓流の自然環境を保全するため、訪れる皆さんに自然の大切さを理解してもらい、永続的な保全と、自然環境を活かした地域振興を図る「奥入瀬渓流エコツーリズムプロジェクト」を応援しています。

【協賛企業】

NTT東日本・東北電力(株)十和田営業所・上北農産加工農業協同組合
田中建設(株)・丸井重機建設(株)・財十和田湖ふるさと活性化公社

みちのくコカ・コーラボトリング(株)・株青工・有二タドリ・紺野建設(株)・
鳴温泉売店・東北インテリジェント通信(株)・田中建設工業(株)・株中達組・
十和田おいらせ農業協同組合・むつ小川原原燃興産(株)・日本生命保険相互会社・
(社)十和田青年会議所・十和田食堂・程川電気工事(株)・(有)ふじの・株吉田産業・
(株)十和田ビルサービス・十和田タクシー(株)・十和田シティホテル

「併催イベント」提供・協力

十和田湖観光汽船(株)／[シャトルバスチケット特典提供]
十和田觀電鉄(株)十和田湖双胴船／[シャトルバスチケット特典提供]

「併催エコツアー」協力

青森県ウォーキング協会 NPOあおもり観光誘客推進協会
NPO法人十和田奥入瀬郷づくり大学 青森県立十和田西高等学校 (社)十和田市観光協会

「奥入瀬エコロードフェスタ」スタッフ協力

青森県警察 青森県 十和田市 十和田市交通指導隊

お問い合わせ

奥入瀬渓流利用適正化協議会事務局
奥入瀬渓流エコツーリズムプロジェクト実行委員会事務局
●代表／青森県県土整備部道路課整備推進グループ
TEL.017-734-9651

行くたび、
あたらしい。青森





豊かな自然を快適に味わう為に

奥入瀬渓流は車で気軽に立ち寄ることができる国立公園である反面、観光シーズンは観光車両が殺到し、渋滞を引き起こしています。また、路上駐車やアイドリングしたままの車両も多く見受けられ、奥入瀬渓流の自然環境はもちろん、散策(ウォーキング)をしている利用者の方々にも決して良い環境とは言えません。

奥入瀬渓流利用適正化協議会では「自然環境保全と渋滞解消」を目的とし、マイカー交通規制の試行に取り組んでいます。しかし、迂回路において大型車がすれ違い困難であることや、渓流沿いの国道102号は、もともと地域の生活道路や産業道路としての物流機能も担っています。

このため、規制車種や期間の拡大のためには、さまざまな課題が残っておりますが、今後毎年の試行を継続し、皆様のご理解をいただきながら定着を図って参ります。



目 次

- P3 奥入瀬渓流エコロードフェスタの結果
- P4 交通規制中の奥入瀬渓流
- P5 来訪者アンケート結果(H20~22)
- P6 奥入瀬渓流エコロードフェスタ イベント報告
- P8 奥入瀬渓流エコロードフェスタ エコツアー 催行結果
- P11 その他のイベント催行結果
- P12 エコツアーアンケート結果
- P13 十和田奥入瀬認定ガイド
- P14 奥入瀬渓流エコツーリズム フォーラム2010



奥入瀬渓流
エコツーリズム
フォーラム
2010

昨年に引き続き今年も「奥入瀬渓流エコツーリズムフォーラム2010」が開催されました。第4回となる今年も会場には約300名の来場者を迎え、奥入瀬渓流のこれから在り方や、奥入瀬渓流の素晴らしい自然環境を保全し、後世に伝えていくにはどのようなことを考える必要があるかについて、市民の皆様と一緒に考える機会となりました。

- 日時／平成22年9月26日(日)14:00～16:30
- 場所／十和田市民文化センター
- 主催／十和田市
- 共催／NPO法人十和田奥入瀬郷づくり大学
奥入瀬渓流エコツーリズムプロジェクト実行委員会



●基調講演

テーマ「名曲“奥入瀬”の誕生秘話」作詞家 北川 文化氏

初めて奥入瀬を訪れたとき、耳をふさいでも鳥のさえずりや、鬱蒼とした森には木漏れ日と渓流のせせらぎが聞こえ、そして、古代からのコケが岩を光らせ大自然の歴史を感じ、胸が張り裂けるくらい感動しました。この素晴らしい奥入瀬渓流の自然を次世代にしっかりと受け継いでいかなければならない。

●パネルディスカッション

テーマ「限りなく美しい奥入瀬渓流を永久に」

コーディネーターに五十洲廣明氏(元青森県企画政策部政策調整課長)を迎える、「限りなく美しい奥入瀬渓流を永久に」と題してパネルディスカッションが行われました。



(社)十和田市観光協会
会長

古館 實氏

旅のスタイルとして“歩かない
と観られない”という観光スタ
イルも一つだと思う。滞在型の
観光をより推進するべき。



八戸工業大学
教授

佐々木 幹夫氏

奥入瀬渓流は1999年に大規
模な地滑りを経験しているが、
渓流の岩は30～50年に一度
割れる周期があり、これは自然
の摂理として受け入れていく必
要がある。



青森県立十和田西高校
3年

高橋 美雪さん

遊歩道を歩いて奥入瀬渓流を
満喫しているときに、車やバイ
クの騒音や排気ガスはとても
迷惑。マイカーの規制は奥入
瀬渓流の環境保全にもなり必
要だと思う。



北里大学獣医学部
准教授

黒瀬 奈緒子氏

知床ではエゾシカのためにフェ
ンスの設置や地下道を作った
りしている。人間側からだけで
なく動物側の視点に立つこと
も考慮して欲しい。

奥入瀬渓流 エコロードフェスタ の結果

昨年に引き続き、奥入瀬渓流マイカー交通規制が行われました。紅葉時期終盤の実施でしたが、昨年より多くのお客様に参加していただきました。

残念ながら2日目(10月31日)は、秋雨の降る悪天候となりましたが、皆様のご理解とご協力により円滑に2日間を終えることが出来ました。

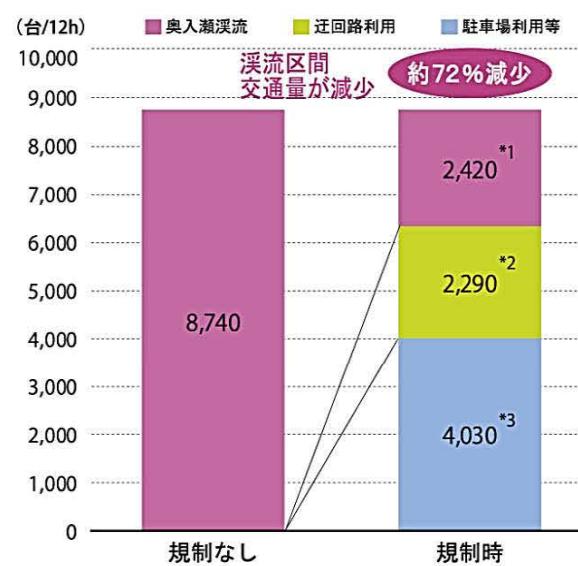
来年度以降も継続して実施を予定しておりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

【規制の概要】

試行日時	H22.10.30(土)	H22.10.31(日)
気象状況	晴れ	曇り(一時雨)
規制時間	9:00~16:00	
規制車両	マイカー車両(レンタカー含む)	
規制車両外	バス、大型、中型、タクシー、自動二輪等	
シャトルバス	焼山～休屋 20分間隔 往復フリーバス 800円	
シャトルバス利用者数	約1,421人	約666人
駐車場利用台数	約1,820台	約1,540台



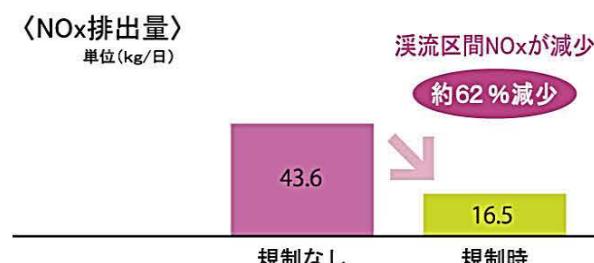
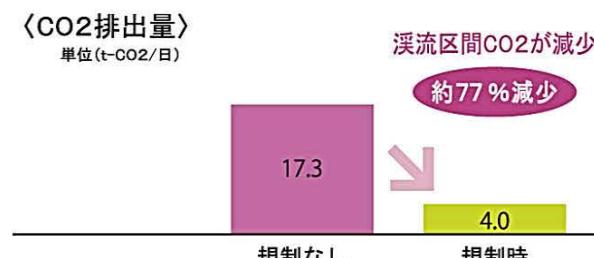
渓流区間の交通量は約72%(約63百台)減少



*1. 「規制なし」とは、当日の規制を実施しなかった場合に想定される交通量推計値
*2. 「規制時」とは、H22.10.30(土)・H22.10.31(日)の調査結果に基づく交通量
*3: 緊急交差点交通量調査結果(渓流区間)
*4: 青木山交差点交通量調査結果(迂回路利用)
*5: H22駐車場利用台数×0.6(H15駐車場利用者アンケート調査結果より)×往復

温室効果ガス・大気汚染物質が大幅に減少

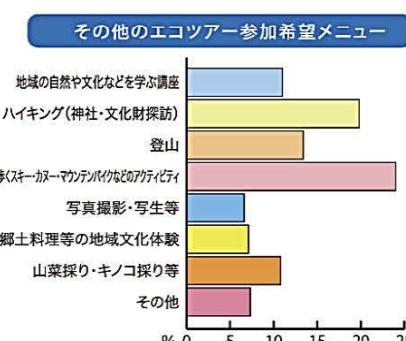
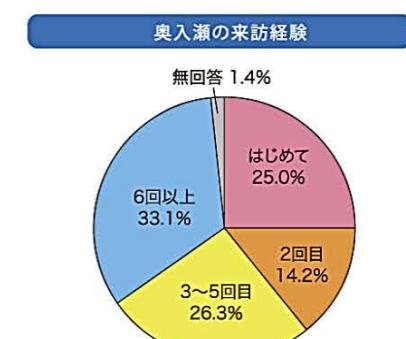
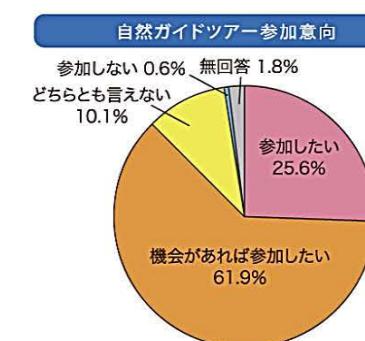
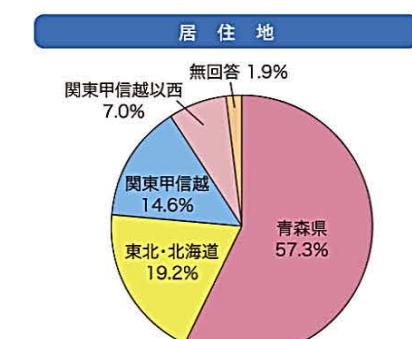
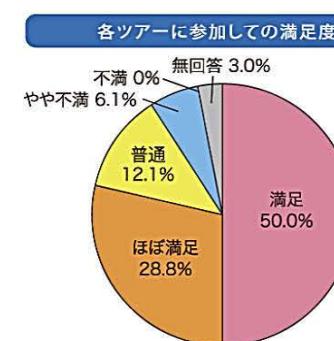
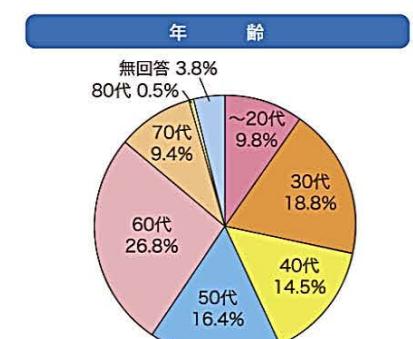
マイカーを規制した結果、渓流区間の交通量が減少したことにより、温室効果ガス(CO₂)、大気汚染物質(NO_x)が大幅に減少しました。



※1. 算定方法は「客観的評価指標の定量的評価指標の算定方法(案)」に基づく

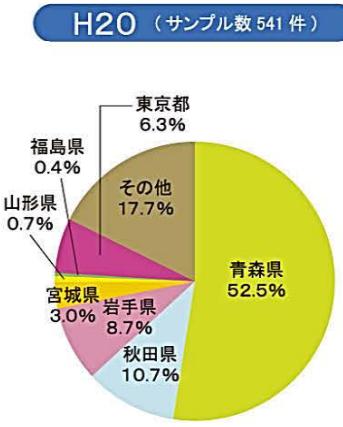
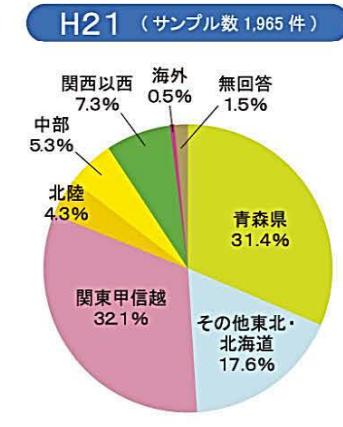
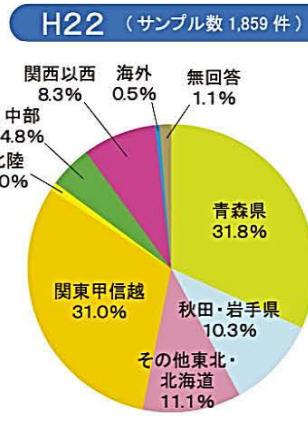
エコツアーアンケート結果

催行ツアー [主催者]	実施日	調査票回収
① 青森500選チャレンジウォーク [青森県ウォーキング協会]	10/30・31	30
② 奥入瀬渓流三里半ウォーク [青森県ウォーキング協会]	10/30・31	118
③ 奥入瀬渓流ボランティアガイドウォーク [NPO法人十和田奥入瀬郷づくり大学]	10/30・31	20
④ 巨木探検ツアー [NPO法人十和田奥入瀬郷づくり大学]	10/30・31	-
⑤ 電気自動車試乗会 [青森三菱自動車販売]	10/30・31	29
合計	-	197

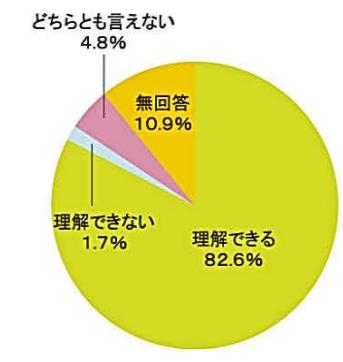
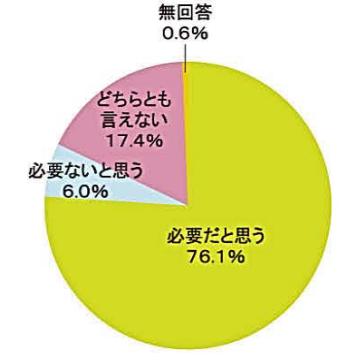
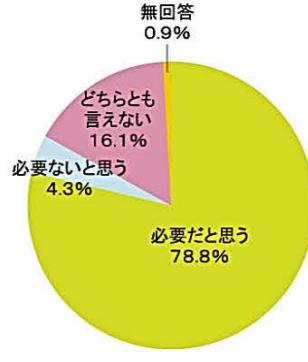


来訪者 アンケート結果 (H20~22)

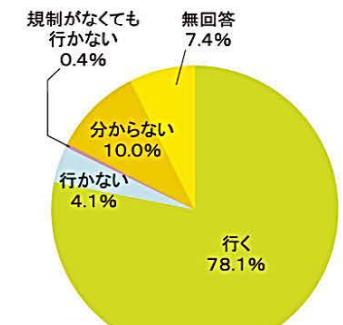
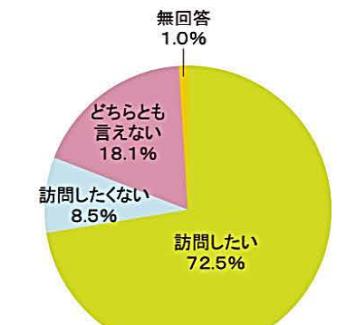
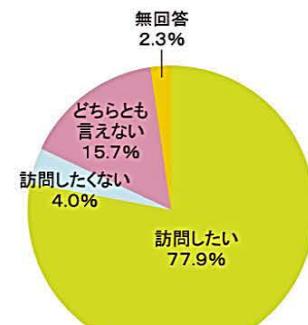
来訪者の住所



マイカー交通規制の必要性



規制時の来訪意志



フリーアンサー

- 今回初めてエコロードフェスタを知りました。観光シーズンなどで混雑している時は、奥入瀬渓流の環境保全と渋滞解消のためマイカーを規制してシャトルバスを運行することが望ましいと思います。
- 奥入瀬渓流を歩いたが、車が少なく静かでとっても良かった。今後は大型車も規制すると、もっと紅葉を堪能できると思います。
- 3年前にも来ましたが、やっぱり歩行が楽、規制は必要です。奥入瀬渓流の保護のためにも5月の新緑の時期など交通規制の日数を増やして欲しい。
- 環境保護のために自動車（バイパス）・自転車・人の専用道路が必要だと思います。

FESTA MENU 3

見所3km満喫! 1時間コース! ボランティアガイドウォーク

NPO法人十和田奥入瀬郷づくり大学

～奥入瀬渓流見所区間約3km(約1時間散策)～
十和田西高校の生徒さんの協力による観光ガイドが同行します。

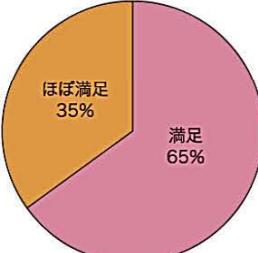
- 実施日／2010年10月30日、10月31日
- 集合場所／休屋・焼山各駐車場の受付テント
- スタート／10月30日、10月31日、9:00から20分ごとに出発、最終14:00
- 参加費／1,000円 [シャトルバス代、傷害保険を含みます]
- コース／
 - [Aコース] 休屋 → 石ヶ戸 → 雲井の滝 → 休屋
 - [Bコース] 焼山 → 石ヶ戸 → 雲井の滝 → 焼山
- 所要時間／
 - [Aコース] 約2時間10分
 - [Bコース] 約1時間40分



お客様の声

- 高校生のガイドさんにお世話になりました。心に残るガイド、ありがとうございました。
- マイカー規制は上高地のように通年でも良いと思います。
- 是非ともこの素晴らしい奥入瀬渓流をいつまでも守ってください。

ツアーに参加した感想は?



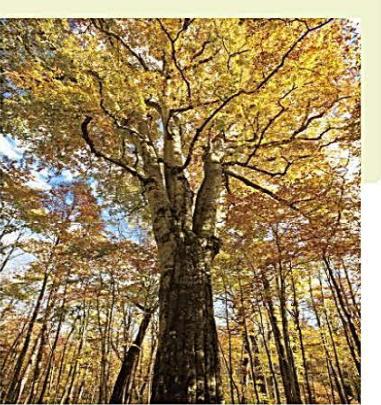
FESTA MENU 4

奥入瀬の自然ステディコース 巨木探検ツアー

NPO法人十和田奥入瀬郷づくり大学

～日本一のブナの巨木を見に行こう～ボランティアガイドの協力による認定ガイドが同行します。

- 実施日／2010年10月30日、10月31日
- 集合場所／焼山駐車場の受付テント
- スタート／10月30日、10月31日、焼山受付テントから9:00、11:00、13:00
- 参加費／1,000円 [ツアーバス料金、傷害保険を含みます]
- コース／焼山 → 下車 → 日本一のブナ → 乗車 → 烧山
- 所要時間／約1時間20分
- 日本一のブナ
- 車窓から八甲田連峰眺望



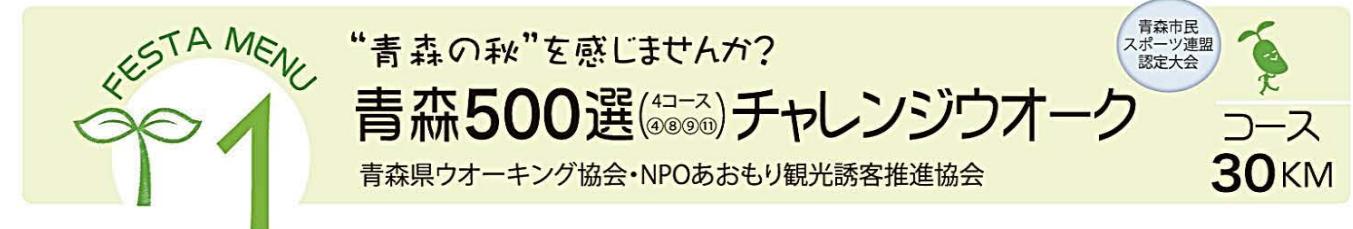


【桟橋前広場（休屋地区）】



マイカー交通規制によって、普段とは違う静寂な奥入瀬渓流が生まれます。この機会に、多くの皆様にその魅力を体感していただけたため、奥入瀬渓流エコツアーリズムプロジェクト実行委員会では、様々なウォークイベント、自然ガイドツアー等のエコツアーを催行しました。

エコロードフェスタ期間だけでなく、通年でのエコツアーリズム観光推進に向けて、今後も幅広いメニューを検討し、皆様に提供していきたいと考えています。



青森県内の「美しい日本の歩きたくなるみち500選」設定コース。奥入瀬渓流をはじめとする“青森の秋”を感じませんか？

青森県内の「美しい日本の歩きたくなるみち500選」設定コース

十和田湖奥入瀬渓流のみち	8.5km	種差海岸・渚と風のみち	8.0km
秘境・下北半島尻屋崎のみち	7.0km	ふく里山バーデパークのみち	7.0km

※青森県内500選11コースの中で残り7コースは10月16・17日開催の「縄文の杜あおもりツーマーチせっかくウォーク」で企画しました。

標準コース

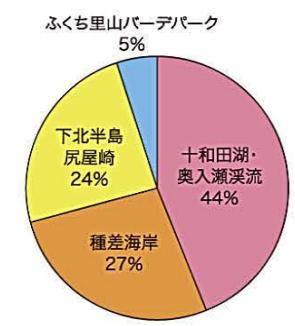
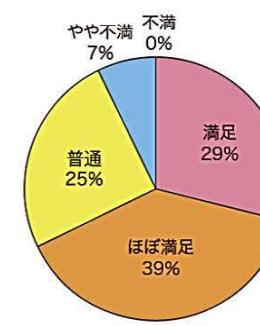


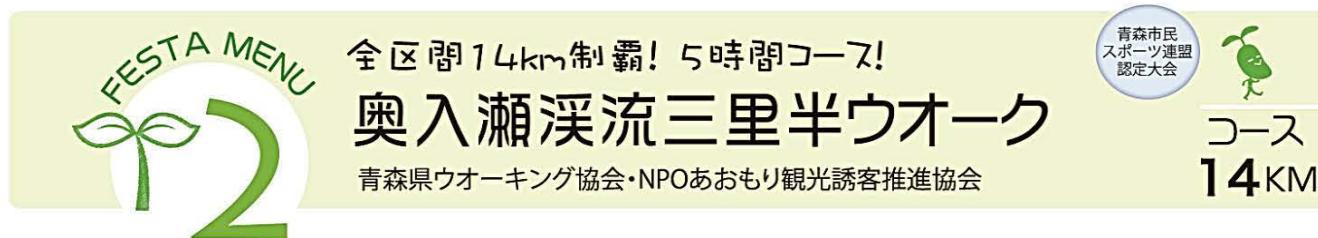
お客様の声

- 前回来たとき洪滞がひどく時間を取られ、通り抜けるのに4~5時間がかかり大変でしたが、ゆっくりと渓流を見ることが出来たので良かったです。
- 歩くのに安心して渓流の景色を見ながらゆっくり楽しくウォークできました。
- 自然を守る為にも良いし、観光としてもゆっくり見て歩くことが出来たので良かったです。
- ウォーキングの途中、各見所での小休止がもう少しあれば良かったです。

ツアーに参加した感想は？

最も印象に残ったコースは？





~美しいブナ林の紅葉と渓流のせせらぎを歩く~奥入瀬渓流全区間14km(三里半)、約4~5時間のコースです。

■実施日/2010年10月30日、31日

■集合場所/奥入瀬渓流館(焼山)/集合9:40、出発10:00

■コース/奥入瀬渓流館(焼山) 奥入瀬渓流14km 子ノ口(遊覧船) 湖上遊覧 休屋

■参加費/3,000円 [シャトルバス代、十和田湖遊覧船、傷害保険を含みます]



〈お客様の声〉

- 地域の人が地道に取り組むことはとても意義があると思います。
- 観光シーズンの土日に来ると渋滞がひどいので今までなかなか来られませんでした。また、渓流を歩こうと思うと、マイカー等の混雑に困っていたのでマイカー規制の中でバス・船で移動できるのは良いと思う。
- マイカーを規制したこと、乗用車の騒音が少ないので自然をより深く感じられました。



奥入瀬渓流エコロードフェスタの取り組みを多くの方に知っていただくため、奥入瀬渓流館(焼山)において、「奥入瀬渓流三里半ウォーク」の出発式を兼ねた、開幕セレモニーを来賓者出席のもと開催しました。

【開幕セレモニー(焼山地区・奥入瀬渓流館)】



その他の
イベント催行
結果

【湖畔歩行者天国】



【エコツアーステーション】

■設置場所／焼山P1駐車場・休屋桟橋前

エコツアーステーションでは、十和田湖・奥入瀬渓流で行われているエコツアーについて様々な情報発信しました。また、「セグウェイ」の試乗体験(休屋のみ)、十和田湖・奥入瀬渓流写真展など、多くのお客様にお立ち寄りいただきました。

■情報を発信しているエコツアーリスト

- ・ネイチャーランブリングツアー・カヌーツアー・スノーランブリングツアー
- ・自然ボランティアガイド



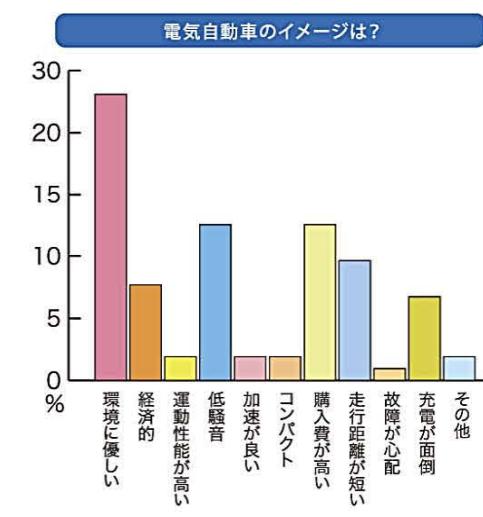
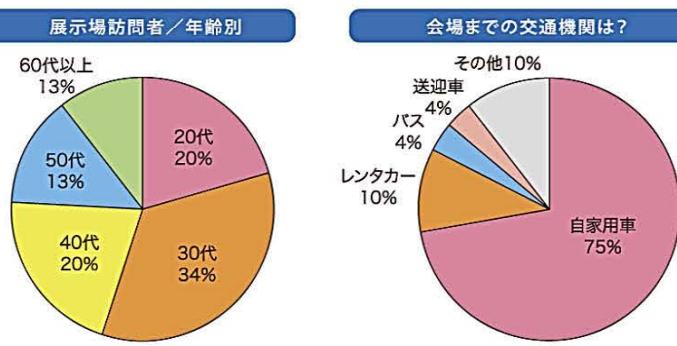
【電気自動車展示試乗会】



奥入瀬渓流の環境問題、自動車利用の在り方を考えていただくことを目的に、休屋地区内で電気自動車の試乗会を実施しました。

■試乗日時／10月30日(土) 10:00～16:00
31日(日) 10:00～16:00

■参加者／29名



交通規制中の
奥入瀬渓流



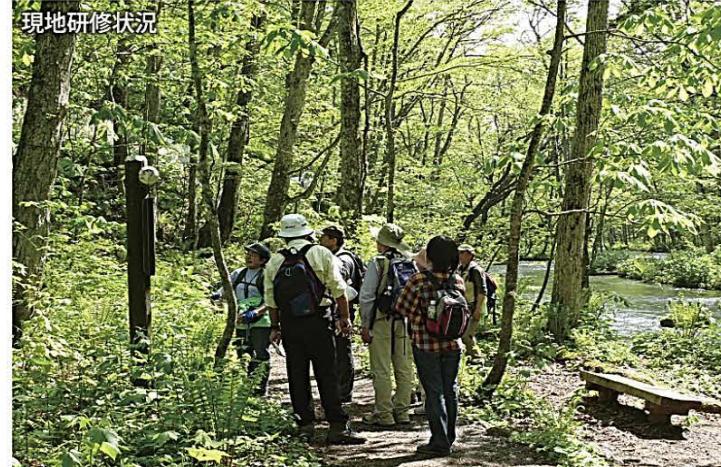
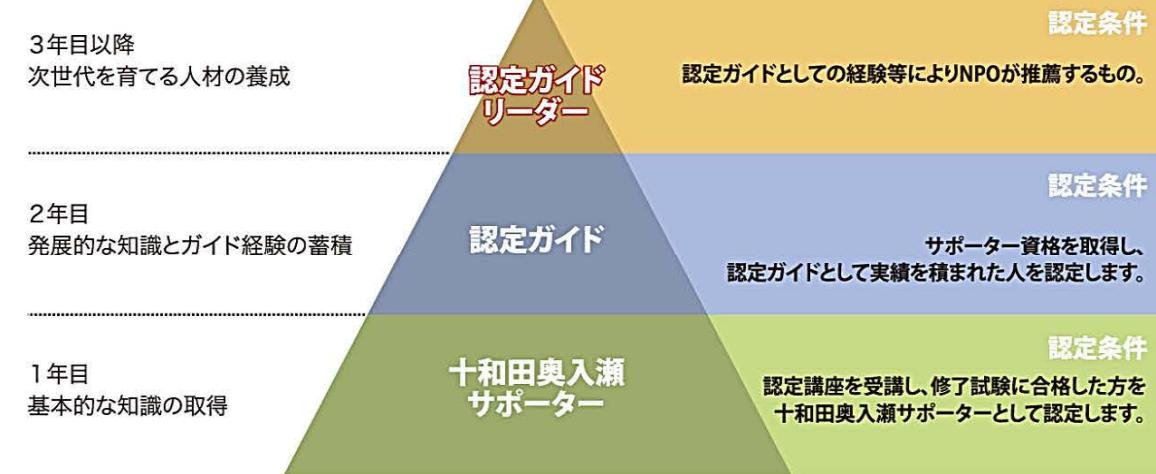
十和田奥入瀬 認定ガイド

奥入瀬渓流エコツーリズムプロジェクト実行委員会の一員であるNPO法人十和田奥入瀬郷づくり大学では、昨年から十和田奥入瀬地域における豊富で貴重な自然・歴史・文化を守りながら、訪れる観光客の皆様にその魅力を伝える自然解説員(ガイド)の育成を行っています。

2年目の今年は、昨年「サポーター」に認定された方が「認定ガイド」へ昇格すべくスキルアップのための養成講座や現地研修を受講し、20名を認定ガイドとすることが出来ました。また、新たなガイド育成のための「サポーター養成講座」も実施し、新たに11名を「サポーター」として認定することができました。

今後も新たなガイドの育成と更なるスキルアップを目指していきたいと考えております。

■ 十和田奥入瀬認定ガイド制度



【講座日程】

認定ガイド養成講座	サポーター養成講座
5月29日(土) 認定ガイド養成講座(7時間)	9月4日(土)・5日(日) サポーター養成講座(14時間)
5月22日(土)・30日(日) 奥入瀬渓流現地研修①、②(14時間)	9月11日(土) 奥入瀬・十和田湖現地研修
6月19日(土) 鳶沼現地研修	10月9日(土) 修了試験(2時間)
8月28日(土) 認定ガイド証交付(20名)	11月6日(土) サポーター証交付(11名)



はじめに

奥入瀬渓流は、十和田八幡平国立公園の中で最も保全基準の厳しい特別保護地区に指定されており、自然環境を良好に保全すべき地区です。

奥入瀬渓流利用適正化協議会では、自然環境保全と渋滞解消を目的に平成15年からマイカー交通規制を試行しており、今年で5回目の実施となりました。

マイカー交通規制は、自然環境保全や渋滞解消につながるだけでなく、本来の自然美や渓流美をそのままに活かす環境が創出される取り組みです。

このため、奥入瀬渓流エコツーリズムプロジェクト実行委員会では、「奥入瀬渓流エコロードフェスタ」として、マイカー交通規制中の環境の中で、奥入瀬渓流三里半ウォークやボランティアガイドウォーク、巨木探検ツアー等のエコツアーを催行しました。

また、平成22年は東北新幹線が全線開業し、十和田湖・奥入瀬が県外からの観光客にとってより身近な観光地となりました。これにより今後、奥入瀬渓流の魅力を伝える「十和田奥入瀬認定ガイド」の役割がより重要であると考え、新たなガイド育成とスキルアップに努めたいと思います。

これからも、自然を尊重し、自然に感謝し、永続的に保全する努力を行いながら、奥入瀬渓流の自然の奥深さや幅広い魅力をより多くの方々に知っていただけるよう、官民一体となって取り組んで参ります。

また、これらの取り組みは、県内外の企業の皆様からの御協賛と地元関係団体をはじめ多くの皆様から支えられています。

ここに今年度の事業が無事に終了できましたことを事務局、スタッフ一同より深く感謝申し上げますとともに、今後ともよろしく一層のご理解、ご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

奥入瀬渓流利用適正化協議会

奥入瀬渓流エコツーリズムプロジェクト実行委員会